

【確報版】福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<1/3>

採取場所	運用補助共用施設3階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設3階 (南側階段前)		運用補助共用施設3階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度 限度(Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線業務従事者 の呼吸する空气中 の濃度限度)
	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	
試料採取日 時刻	平成26年9月8日 8時11分～ 平成26年9月9日 9時16分		平成26年9月8日 8時14分～ 平成26年9月9日 9時17分		平成26年9月8日 8時06分～ 平成26年9月9日 9時13分		
検出核種 (半減期)							
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03
Mn-54 (約310日)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-02
Co-60 (約5年)	2.2E-08	0.00	2.8E-08	0.00	5.1E-08	0.00	1E-03
Nb-95 (約35日)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-02
Tc-99m (約6時間)	ND	-	ND	-	ND	-	7E-01
Ru-106 (約370日)	ND	-	ND	-	ND	-	6E-04
Ag-110m (約250日)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03
Sb-125 (約3年)	ND	-	ND	-	ND	-	6E-03
Te-129 (約70分)	ND	-	ND	-	ND	-	4E-01
Te-129m (約34日)	ND	-	ND	-	ND	-	4E-03
I-132 (約2時間)	ND	-	ND	-	ND	-	7E-02
Te-132 (約78時間)	ND	-	ND	-	ND	-	4E-03
I-133 (約21時間)	ND	-	ND	-	ND	-	5E-03
Cs-136 (約13日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-02
Ba-140 (約13日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-02
La-140 (約40時間)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-02

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

※ O.OE-Oとは、O.O×10<sup>-O</sup>と同じ意味である。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約2E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約3E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約3E-8Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状のI-131が約1E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約2E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約2E-8Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

【確報版】福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<2/3>

採取場所	運用補助共用施設3階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設3階 (南側階段前)		運用補助共用施設3階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度 限度(Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線業務従事者 の呼吸する空气中 の濃度限度)
	試料採取日 時刻	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	
	平成26年9月11日 8時33分～ 平成26年9月12日 9時06分			平成26年9月11日 8時27分～ 平成26年9月12日 9時03分		平成26年9月11日 8時21分～ 平成26年9月12日 9時00分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03
Mn-54 (約310日)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-02
Co-60 (約5年)	ND	-	2.8E-08	0.00	ND	-	1E-03
Nb-95 (約35日)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-02
Tc-99m (約6時間)	ND	-	ND	-	ND	-	7E-01
Ru-106 (約370日)	ND	-	ND	-	ND	-	6E-04
Ag-110m (約250日)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03
Sb-125 (約3年)	ND	-	ND	-	ND	-	6E-03
Te-129 (約70分)	ND	-	ND	-	ND	-	4E-01
Te-129m (約34日)	ND	-	ND	-	ND	-	4E-03
I-132 (約2時間)	ND	-	ND	-	ND	-	7E-02
Te-132 (約78時間)	ND	-	ND	-	ND	-	4E-03
I-133 (約21時間)	ND	-	ND	-	ND	-	5E-03
Cs-136 (約13日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-02
Ba-140 (約13日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-02
La-140 (約40時間)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-02

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

※ O.OE-Oとは、O.O×10<sup>-O</sup>と同じ意味である。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約7E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約1E-7Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約4E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約6E-8Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

【確報版】福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<3/3>

採取場所	運用補助共用施設3階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設3階 (南側階段前)		運用補助共用施設3階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度 限度(Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線業務従事者 の呼吸する空气中 の濃度限度)
	試料採取日 時刻	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	
	平成26年9月14日 8時10分～ 平成26年9月15日 9時03分			平成26年9月14日 8時12分～ 平成26年9月15日 9時05分			
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03
Mn-54 (約310日)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-02
Co-60 (約5年)	ND	-	4.0E-08	0.00	ND	-	1E-03
Nb-95 (約35日)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-02
Tc-99m (約6時間)	ND	-	ND	-	ND	-	7E-01
Ru-106 (約370日)	ND	-	ND	-	ND	-	6E-04
Ag-110m (約250日)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03
Sb-125 (約3年)	ND	-	ND	-	ND	-	6E-03
Te-129 (約70分)	ND	-	ND	-	ND	-	4E-01
Te-129m (約34日)	ND	-	ND	-	ND	-	4E-03
I-132 (約2時間)	ND	-	ND	-	ND	-	7E-02
Te-132 (約78時間)	ND	-	ND	-	ND	-	4E-03
I-133 (約21時間)	ND	-	ND	-	ND	-	5E-03
Cs-136 (約13日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-02
Ba-140 (約13日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-02
La-140 (約40時間)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-02

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

※ O.OE-Oとは、O.O×10<sup>-O</sup>と同じ意味である。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約7E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約1E-7Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状のI-131が約3E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約4E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約6E-8Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。